

水害備え的确対応へ

NPO法人会 市の水防訓練参加 草津市内業者会



NPO草津市内業者会（右側）の指示のもと、積土の作業に取り組む参加者ら

草津市を拠点とする建設関連事業者でつくる「NPO法人 草津の未来を建設する市内業者会」（略称「NPO法人草津市内業者会・理事長」森川守輔千商代表取締役）はこのほど、草津市の草津川防災ステーションで行われた「平成30年度草津市水防訓練」に参加した。

本格的な梅雨シーズンを迎える水害の未然防止と軽減を図り、市民生活の安心を確保するため開催。NPO草津からは49名が参加。全員が揃いの黄色いNPOベストと活動服、ヘルメットを着用し、消防団と消防署員、市職員らとの連携のもと、水害の事態に備える確実に対応できる水防

草津市水防訓練（主催「草津市、主管」草津市消防団、県南部土木事務所、湖南広域消防局西消防署・南消防署）は、

技術・知識の習得・向上を図るための土の作り・運搬と水防工法の訓練にあたった。当日はNPO草津に加え消防団員、消防署員、市職員から成る総勢256名の参加者を前に、橋川渉草津市長らが激励のあいさつを行い訓練がスタート。第1部訓練では説明を受け、約1000袋の土の作りを実施。第2部訓練では水防工法の作業工程の説明の後、3班に分かれ改良積土の工・積土の工と釜段工を実践訓練。作業完了後は市長や消防団長、西・南消防署長らによる工法出来栄確認も行われた。訓練終了後は使用した土のうを各消防団、備蓄用土のう置き場へ運搬し、いざという時の備えとした。